

アジア最大規模のゴルフ商談会

来年3月に宮崎市 日本初開催

県は2日、日本初開催となるアジア最大のゴルフ商談会「アジアゴルフツーリズムコンベンション2023」が来年3月14〜16日の3日間、本県で開催されることを決まると発表しました。

商談会は、60カ国・630社のゴルフ

専門オペレーターを含む89カ国・2240社のゴルフリゾート、航空会社、ホテルなどの会員で構成する国際ゴルフツアーオペレーター協会（IAGTO）が主催。

2012年からアジア各国で年1回開催され、2021年4月に

宮崎での開催が決まっていたが、新型コロナウイルスの影響で延期された後、中止となっていた。

コンベンションの会場は宮崎市のフェニックスリゾートなどで、商談会や県内ゴルフ環境の視察などが行われる予定。国内外の旅行

会社やゴルフ場、ゴルフリゾート、ホテルなどから、約40カ国・600人の参加を想定している。

河野知事は、同日の定例会見で「コロナでなかなか行き来ができない状況だが、先を見据えて国内初のコンベンションを開くことで宮崎のゴルフ環境を世界に発信し、コロナ後のインバウンドの誘客につなげていきたい」と話していた。

記者手帳

2022.7.15

宮崎市の「みやざきアートセンター」で演劇を見た。俳優・俳優スクール・サラミやぎの生徒たちがつくり上げる奇妙な世界。強烈なキャラクターが奔放に動き、日常から異界に入り込んだ感じが楽しかった。

会場のアートセンターがあるのは橋通西3丁目。2009年、市民の活動拠点として誕生した。中心市街地活性化のためビル1階はコンサートや物産展などができる広場、2階は商業施設共用フロア、3〜6階がアートセンター。演劇会場は4階の多目的スペースだが、他に芸術関係の本を自由に閲覧できるライブラリー、絵本や木製遊具のあるキッズルーム、交流サロンなどがある。

立派なステージや座り心地のいい客席、最新の照明や音響設備の文化ホールもいいが、まちなかの施設は「ついで」の気軽さ、日常から非日常へ迷い込む面白さがある。

3年前、宮崎市の山形屋裏通りのビルで、男女2人が延々と手紙を読む朗読劇に引き込まれた。大学時代は、講義棟の屋上にある小屋で一人芝居を手伝ったことがある。ほこり舞う中に差し込む光の筋、ハトが飛び交う大都会の片隅に異様なエネルギーが渦巻いていた。

バンドブームのころ、空き家で練習する高校生たちが「ご迷惑をおかけします」と近所にイチゴのバック入りを配る場面に遭遇した。数日後、彼らのライブは大成功だった。まちなかバフォームは、面白いまじつくりにつながりそうな予感がする。(坂本)

2022.7.15

魚をさばいてムニエルに

延岡

北浦小中 ひむか本サバで調理

延岡市立北浦小学校
(甲斐憲一校長、106
人の5年生21人と北浦
中学校(川原寛幸校長、
50人の3年生15人がこ

のほど、県水産物プラン
ド(ひむか本サバ)を使っ
た魚さばきを体験した。
体験は北浦小であり、
地元の民泊・食事処臨港

の鍋田庄一朗さん(43)
と旅館潮香ノ宿高平屋の
高平新之助さん(41)を
講師に迎えて実施した。
高平さんは手元をモニ

ターに映し、子どもたち
にさばき方の手本を見せ
た。その後、事前に頭と
内臓を取り除いたサバを
配り、早速、子どもたち
が魚さばきに挑戦。包丁
の刃が骨に当たり、思う
ように切れず苦戦しなが
ら三枚に下ろした。小学
生は緊張した面持ちで包
丁を握り、中学生の優し
いアドバイスを受けなが
らさばいていた。

続けて、中学生は鍋田
さんからムニエルの作り
方を伝授してもらい、中
学生が小学生に作り方を
指導。小学生は切り身に
小麦粉をまぶす作業、中
学生はフライパンで焼く
作業に分かれて、協力し
てムニエルを完成させ
た。子どもたちは、きれ
いに盛り付けたムニエル
を「おいしい」と笑顔で
頬張っていた。



協力してムニエルを作る小学生と中学生



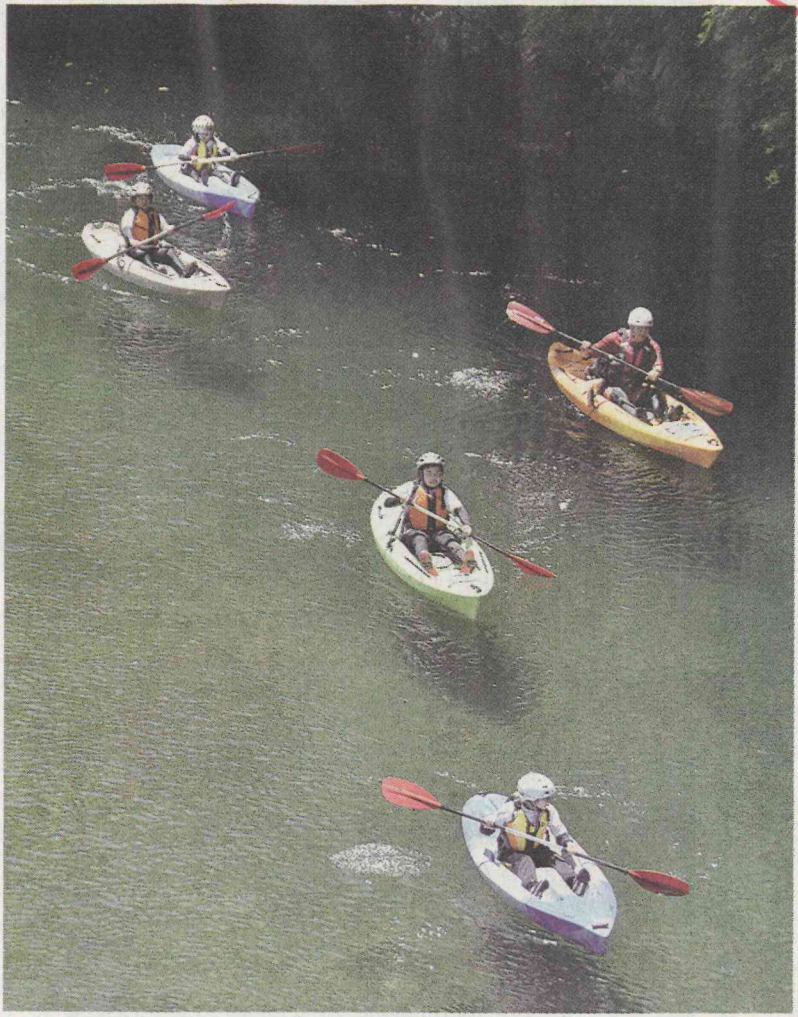
ムニエルの作り方を中学生に教える鍋田さん(右)

7/15

「奇跡の清流、小川を満喫

延岡・北川中1年生 北川支流でカヌー、カヤック体験

透明度の高い北川支流の小川でカヤックを楽しむ生徒



息を合わせてパドルをこぐ生徒

延岡市立北川中学校（柳倉校長、61人）の1年生21人は6月30日、北川支流の小川で、カヌーとカヤックを体験した。活動は、透明度の高さから「奇跡の清流」と呼ばれる小川を下って北川の自然と魅力を知り、愛着と誇りを持ってもらうことを目的に実施した。

北川流域ネットワーク（矢野純一代表）のインストラクター6人が講師を務めた。生徒は実際に川に入ってパドルの持ち方やこぎ方の指導を受けた後、カヌーとカヤックに乗り込んで方向転換などの操作方法を練習。インストラクターの後ろを必死について行く生徒のほか、岩壁にぶつかってバックに苦戦する生徒もいたが、アドバイスを受けるとすぐさま上達していた。また、Eポートと呼ばれる

るゴム製のボートに乗り込んだ生徒は、全員息を合わせてパドルをこぎ、楽しんでいった。川下りの途中、休憩時には、水しぶきを上げて気持ちよさそうに泳いだり、友だちと水を掛け合ったりする生徒の姿も見られ、北川の大自然に囲まれた約6キロのコースを満喫していた。

黒田愛禾さん（12）は「操作するのが難しかったが、最後の方では人にぶつからずに進めた。天気も良く、川の水もきれいで貴重な体験ができた」と、途中まで手が疲れたが、みんなと頑張ったゴールまで行けて良かった。また体験したい、井本結梨愛さん（12）は「一人で乗るのは不安だったが、スイスイと進むことができて楽しかった。いい思い出になった」と話した。

みんなで環境問題を考え、行動しよう

延岡

第29回延岡アースデイ

地球環境について考え、行動する「第29回延岡アースデイ」(高藤誠実行委員長)の関連イベント「ともに学び、ともに行動し、そして誰一人として取り残さない未来へ」が8日、延岡市本小路のカルチャープラザのべおかで行われた。岡富中学校3年生や一般の参加者ら300人以上が出席。講演会とパネルディスカッションを通して、温暖化と脱炭素について考えた。

高藤実行委員長が「環境問題は身近なところから世界宇宙へと視野を広げると、人

ごとではない。そういう責任感を持ったリーダーの育成と意識の継承が不可欠。こ

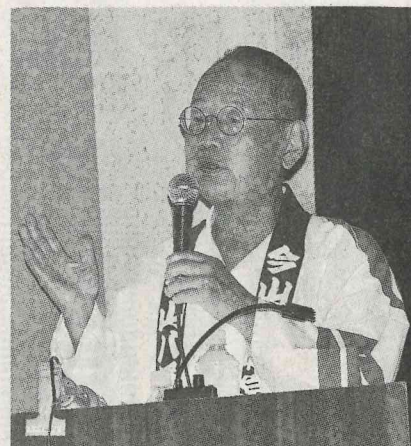
こに来てくれた人たちは、知識や認識を「意識」に変えてもらい将来世界の役に立

てる人材に育ててほしいとあいさつした。澤野幸司教育長は「今回のテーマは、私たちが学校でやろうとする取り組みであり、皆さんの願う方向性と

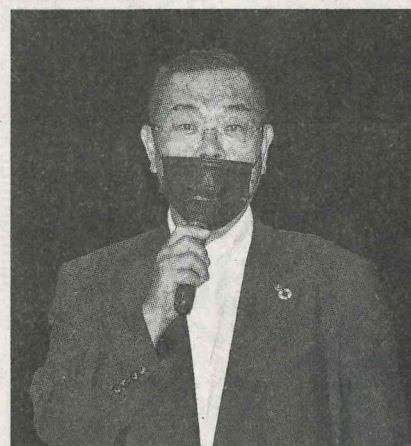
谷平さんは、地球温暖化の原因は「人口爆発とエネルギー問題」とし、「エネルギーの90%以上を化石燃料に頼っている現状では温

暖化ガス(二酸化炭素)の排出によって温暖化が進み、氷山や永久凍土の融解、海流大循環の崩壊、アマゾンの砂漠化、巨大ハリケーンや台風などの多発化、海の酸性化を引き起こし、食物連鎖を崩壊させる」と問題提起した。

「人間の生活によ



講演する谷平さん



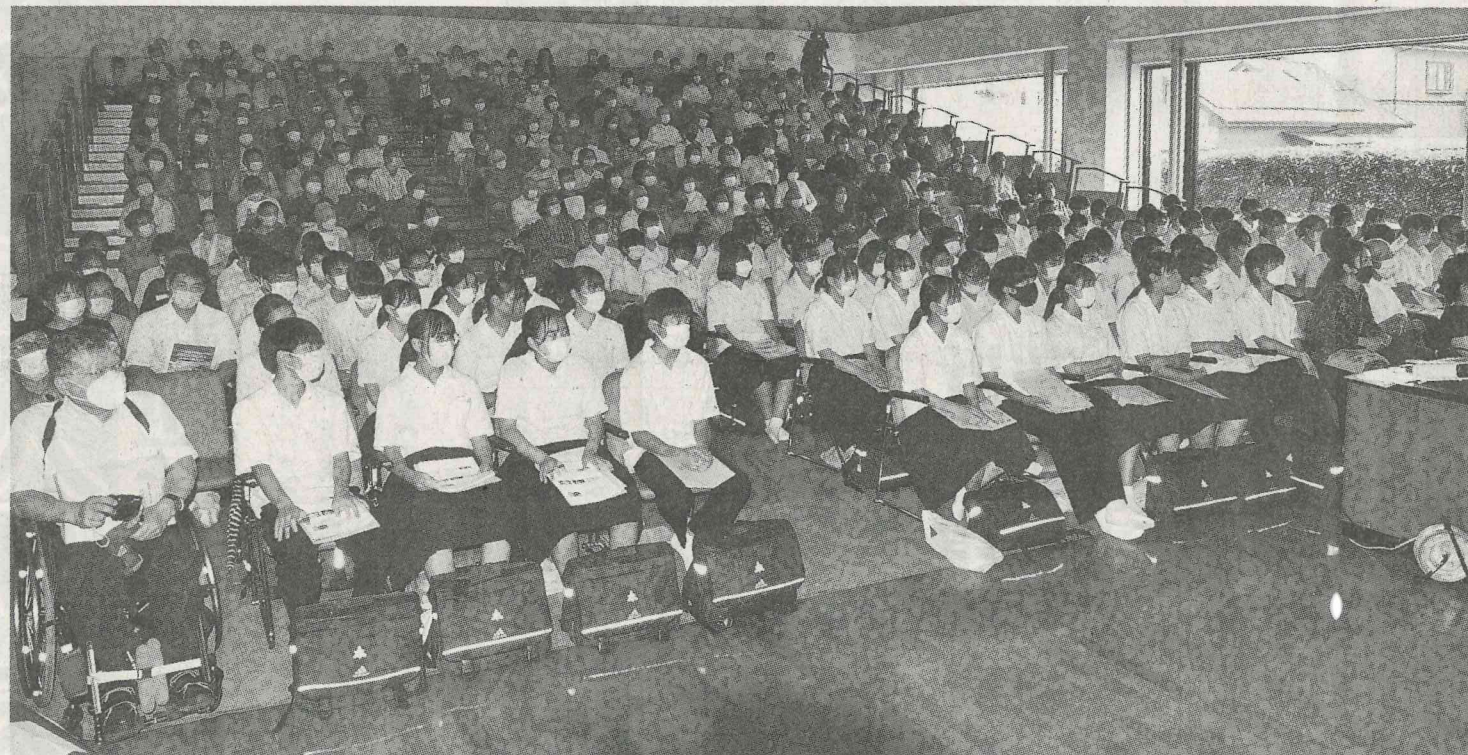
あいさつする高藤実行委員長

第1部では、延岡観光協会前会長で、1994年に初めて延岡アースデイを開催した谷平さんと「母なる地球に「恩返しを」をテーマに講演した。

谷平さんは、地球温暖化の原因は「人口爆発とエネルギー問題」とし、「エネルギーの90%以上を化石燃料に頼っている現状では温

暖化ガス(二酸化炭素)の排出によって温暖化が進み、氷山や永久凍土の融解、海流大循環の崩壊、アマゾンの砂漠化、巨大ハリケーンや台風などの多発化、海の酸性化を引き起こし、食物連鎖を崩壊させる」と問題提起した。

「人間の生活によ



講演会とパネルディスカッションに300人以上が出席



宣言文を読み上げる岡富中3年の金丸さん



6人がそれぞれの活動を発表したパネルディスカッション

とが引き起こされるのか知ってほしい。人間以外のすべての生物が絶滅に突き進む結果、人間も絶滅に至ることになる。そうなるのは地球ではなく、私たち人間」と、既に始まっている危機から「一刻も早く、脱炭素シフトしなければならぬ」と訴えた。

さらに「環境問題は先進国と新興国の大人、この50年、100年を生きてきた今の大人たちが真犯人。しかし、人間から見たら母なる地球があまりにも大きく無限に思える存在だったので、誰一人悪いことをしたと思っ

てきた人はいない。みんな一生懸命働き、子どもたちを育ててきた。しかし、温暖化の真犯人はまぎれもなく私たちが今の大人」と現代人の責任に言及。